

## 常任政策議員会議

3月22日(火)、中経連は常任政策議員会議を開催し、平成28年度の事業計画書(案)・収支予算書(案)について審議を行った。会議では、出席者から主に事業計画書(案)に対し、幅広い観点から意見が出され、活発な議論が行われた。

「事業の推進にあたり、より多くの会員が参加しやすくなる仕組みを工夫すべき」「人口減少が進む中、ダイバーシティ、生産性向上、働き方改革への取り組みを進めるとともに、製造業で進んでいるロボット技術を他の産業にも活用していくことが必要」などの指摘があった。

また、観光については、「無料Wi-Fiのハードを整備するだけでなく、コンテンツづくりと提供方法等のソフトが重要」「観光での連携を契機に防災等でも広域的な連携を促すべき」との意見が出された。

両案の取り扱いは、三田会長および議長を務めた中西副会長に一任され、会議での意見を反映したうえ、3月28日開催の理事会および総合政策会議に諮ることとした。

(総務部 亀井 勝彦)

## 中部国際空港に 伊勢志摩サミット歓迎装飾を設置



3月24日(木)、伊勢志摩サミット東海会議(会長:三田中経連会長)は、訪日サミット関係者

に対する歓迎や当地域の魅力発信の際に活用するキービジュアルを発表するとともに、中部国際空港において歓迎装飾を設置した。

キービジュアルは、からくり人形とともに小型ジェット旅客機MRJ、燃料電池車MIRAI、リニア中央新幹線を絵巻物風に表し、ものづくりの原点ともいえるからくり人形に使われた技術が、当地域が誇る最先端のものづくり技術へと繋がるよう描いた。さらに、あわせて伊勢神宮や名古屋城といった歴史・文化的建造物も描くことで「昔も今もこの地が歴史・文化・産業をリードしてきた中心地」であることを表現した。また、からくり人形のデザインを「茶運び人形」にすることで、「訪日サミット関係者へのおもてなし・歓迎の意」を表現した。

中部国際空港での歓迎装飾は、キービジュアルや当地域の産業・伝統文化を紹介する写真パネルを、国際・国内線の到着通路や到着ロ



ビーなど計9カ所に設置した。東海会議では今後、名古屋駅や名鉄空港特急「ミュースカイ」においても歓迎装飾の設置を予定している。

(伊勢志摩サミット支援推進室 和田 耕一郎)

## 会長人事発表および定例記者会見

3月28日(月)、中経連は総合政策会議終了後、会長人事について発表し、次いで定例記者会見を行った。

会長人事は、6月9日の定時総会をもって三田会長が退任し、後任の候補者を豊田副会長とする内容で、当日開催された会長・副会長選考委員会での承認後に行われた記者会見には、多くの記者が集まる中、三田会長、豊田副会長が揃って出席した。



三田会長は挨拶で、就任以来5年間の感謝の気持ち、現状の課題認識などを述べるとともに、次期会長に対して「しっかり支えるので頑張ってください」とエールを送った。豊田副会長はこれに応える形で、「身の引き締まる思い。皆様の支援・協力をいただきながら全力で務めたい」と決意を語った。

定例記者会見では、三田会長が中部圏の経済情勢について、本会の会員向けアンケート調査や財務省東海財務局の調査結果から、やや足踏み状態にあるとの見方を示す一方、一時不安定だった金融市場が落ち着きを取り戻しつつあるとし、景気は引き続き緩やかに改善していくとの見通しを示した。

次に、本会の平成28年度事業計画(本誌2~4ページ参照)を公表し、基本スタンスとして、「ものづくり」「まちづくり」「ひとづくり」を活動の軸に据え、グローバル・ローカル経済双方の活性化を目指すとした。これを中部圏、ひいてはわが国経済の発展に繋げていくためには、まず経済界自らが行動していくことが重要であると述べた。

さらに、昇龍道9県の外国人延べ宿泊者数の目標値を昨年、前倒しで達成したことを受け、昇龍道

プロジェクト推進協議会が新たに設定した目標「平成31年に1100万人泊」の実現に向け、伊勢志摩サミット訪日関係者への情報発信などの取り組みに一層力を入れていくと意気込みを語った。

(総務部 伊藤 邦広)

## ルフトハンザドイツ航空 日本支社長 表敬訪問

4月5日(火)、ルフトハンザドイツ航空日本支社長のドナルド・ブンケンブルグ氏等が就任挨拶のため中経連を訪れ、三田会長、伊藤専務理事等と懇談した。

ブンケンブルグ氏から「今年7月に名古屋就航25周年を迎え、長年ご支援をいただき大変ありがたく感じている。現在、ヨーロッパで観光誘客プロモーションを実施しており、名古屋線の強化に繋がる結果が出てきている。今後も引き続き、海外における名古屋の認知度を高めていきたい」との挨拶があった。

これに対し、三田会長は「昇龍道プロジェクトでは、アジアを中心にPRを行っていたが、今後はヨーロッパも視野に入れていく予定である。ビジネス客の利便性向上に加えて、昇龍道への訪日外国人旅行者が大きく増加することを期待したい」と述べた。

(社会基盤部 奥山 基樹)



## 会員入会のお知らせ

3月28日(月)開催の正・副会長会および総合政策会議において、承認された新入会員をご紹介します。

### ■ 学校法人東海学園 東海学園大学

〔登録者〕学長 松原 武久 〔所在地〕みよし市福谷町西ノ洞21-233 〔TEL〕0561(36)5555